



晩夏の草原で朝陽を受けるゴマシジミ 2012年8月9日 鳥取県 写真/板野 隆

## CONTENTS

- 02 海野和男が語るチョウの魅力  
東信地方のアサマシジミ
  - 04 野生動植物の保全に向けた取り組み
  - 09 チョウ類保全の現状と今後の方向性
  - 14 アカハネバッタ再発見される！
  - 18 保全活動レポート  
オオムラサキ/茨城県  
ミドリシジミほか/埼玉県
  - 20 虫たちの不思議な世界  
ケンモンキシタバ
  - 22 メレ山メレ子の東方りんぷん録  
秋の野に、細長い悪魔あらわる
- 
- 19 お知らせ
  - 24 スタッフ紹介と事務局の動き

# チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY  
CONSERVATION SOCIETY  
NEWSLETTER NO.21

日本チョウ類保全協会 会誌21号

表紙：ハヤシミドリシジミ



ゼフィルスと呼ばれるミドリシジミ類のなかでは大型で、学名のultramarinusが示すとおり、オスの翅は深い青に輝く。高原のカシワ林に住み、生息地では群生することも多い。今年は季節の進行が早く、例年より1週間ほど早く発生したが、個体数は少なかった。

カシワが点在する草原の万緑のなか、目の前にとまっているチョウが翅を開くのを待つ。ひときわ華やかな青が目飛び込んでくると、興奮と感動で、カメラを持つ手が震えた。

兵庫県美方郡香美町 2015年6月

写真・文/板野 隆